

液体プロセス測定分光装置

# Process Lambda

ProcessLambdaは、液体を対象に紫外～可視域の範囲で吸光度スペクトルの測定を行います。液浸プローブを溶液に浸すことで反応をリアルタイムに測定することができ、予め登録しておいた検量線を元に濃度表示することも可能です。付属のソフトウェアで検量線を作成することも可能ですが、ケモトリクスソフトウェアThe Unscrambler®で作成した検量線モデルを読み込むこともできます。また、本体に内蔵されている分光器と液浸プローブは8台まで増設することができますので、例えば複数の試験管内での溶出試験中の反応を同時にモニターするなど、用途に応じた拡張性を持たせてあります。



2種類の光源を併用 (D2 & ハロゲン)

**可視～紫外域対応**

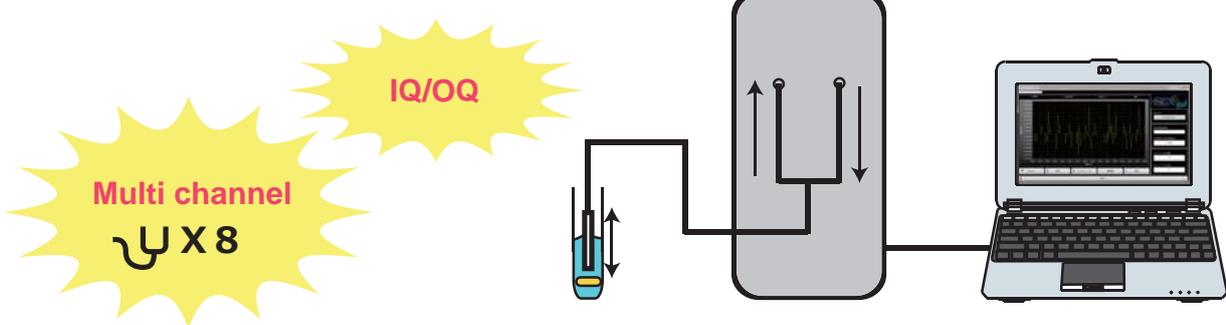
小型機において

**S/N比 5000:1**

同一機体にプローブと分光器を追加

**8ch 増設可能**

システム図



**様々な時間変化する試料を分光分析します!**

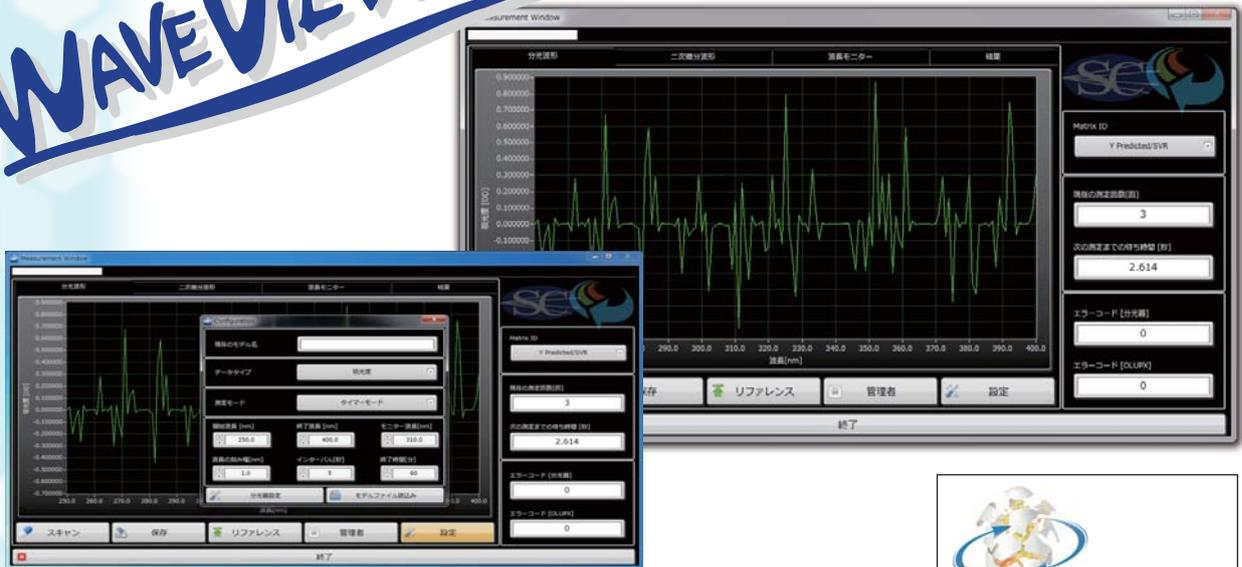
- 試薬の溶出試験
- 数種類の試薬の反応を時系列で分析 など



Spectra Co-op  
<http://www.spectra.co.jp>

# WAVEVIEWER

- 専用ソフトウェア -



- シンプルなユーザーインターフェイス
- スペクトル二次微分などのデータ処理機能
- ご希望に応じてカスタマイズ可能
- 測定データをThe Unscrambler®で処理後、作成した検量線モデルの読み込みが可能

## - 仕様 -

\* The Unscrambler® はカモソフトウェア社の登録商標です。

内蔵分光器 / 装置本体			
タイプ	UV-VIS enh.	UV-VIS	UV-VIS 2
波長範囲	310 ~ 1100nm	190 ~ 720nm	250 ~ 785nm
波長精度	<0.3nm	<0.3nm	<0.2nm
波長分散	<3.3nm/ 素子	<2.2nm/ 素子	<2.2nm/ 素子
温度依存	<0.02nm/°C	<0.02nm/°C	<0.06nm/°C
グレーティング	366 本 /mm ( 中心 ) ブレード波長 :450nm ブレード波長 :600nm	366 本 /mm ( 中心 ) ブレード波長 :220nm	366 本 /mm ( 中心 ) ブレード波長 :220nm
	収差補正式凹面回折格子, F=2		
検出器	浜松ホトニクス社製 MOS タイプ (2 次光カットフィルターをコーティング済み)		
A/D 分解能	16bit (1bit を負の数に割り当て) ±32768 count		
S/N 比	5000:1		
インターフェイス	USB または Ethernet		
電源	AC85 ~ 265V (47 ~ 63Hz) 連続入力		



Spectra Co-op

<http://www.spectra.co.jp>

東京都中野区中央4-4-5 第一小林ビル1F

Tel: 03-5328-2858 Fax: 03-5328-2859